

兵庫県保険医協会

# 但馬支部ニュース

No.161

2020年1月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部  
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660  
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706



2020年 新年のごあいさつ

## 40代になったら 地域で総合診療医に

支部長 谷垣 正人

新年おめでとうございます。

昨年、厚労省が但馬の4公立病院を含む、全国の統廃合すべきリストとして公立・公的424病院を発表しました。診療実績が少ないとか、似た病院が近くにあるという理由ですが、診療実績が少ないとすれば、それは医師が足りないからであり、厚労省はまずそれらの病院の医師を増やす方策を考えるべきです。

なぜ地方の中小病院に医師が来ないのか？ それは医師養成数が少ないこともあるでしょうが、専門分化が進む中で、いくら医師を増やしてもどんどん各専門科に吸い込まれていき、地域医療に従事する医師が増えないためだと思います。すべての患者さんを臓器別に専門医が診ることになれば膨大な医師数が必要であり、経済成長を望めなくなった日本でそれは不可能でしょう。しかし、まず総合診療医が診て、専門医療が必要な患者さんのみ専門医が診るようにすれば、それほど多くの医師数は必要ないはずで。

ところが昨年スタートした新専門医制度で、総合診療医への応募は百数十人、全体のたった6%でした。ただ、医学部卒業時に総合診療医という進路を選ぶのは、かなり勇気が要ります。むしろ卒後すぐは自分の選んだ専門領域で思い切り働き、10～20年経って、もう一度進路を考える機会が来た時(出身医局の人事、仕事の面でのマンネリ感、若手医師の成長、新しい技術の壁、親の病気や介護、自分自身の病気や高齢化、子どもの独立…)、いくつかの選択肢があり、その中に総合診療医があるというのが現実的だと思います。

総合診療医は患者さんの病気の発見から看取りまで向き合う最も「医者らしい

(2面に続く)

（1面からの続き）

医者」であり、患者さんの大部分を占める高齢者の病気の多くは、医者もある程度歳を取らないと理解できない面もあります。多くの経験をしてきた医師こそ、総合診療医に相応しいと思います。

しかし、それを進めるのには、一つ大きなネックがあります。中年の医師が総合診療医になるための研修をする場がないことです。各都道府県の1～数カ所の既存病院に研修のための場をつくり、総合診療の実習と必要な専門科のローテーションをできるようにすれば、総合診療医を目指す人はかなり出てくるのではないのでしょうか？

これは、厚労省と都道府県の決断一つで、すぐにでも取り祖めそうな気がしますが…。

兵庫県保険医協会但馬支部としても、地域医療の今後など、模索する年だと思います。本年もよろしく願いいたします。

.....  
**但馬支部 他科を知る会（整形外科シリーズ第15回）**

## 高齢者に多い骨折 症例学ぶ



加藤怜先生が高齢者の骨折を診るポイントを紹介した

但馬支部は昨年11月21日、中外製薬株式会社と共催で他科を知る会（整形外科シリーズ第15回）を公立日高医療センターで開催。会員ら6人が参加した。他科を知る会（整形外科シリーズ）は、2011年から公立日高医療センター顧問で整形外科専門医の芦田一彌先生、公立豊岡病院の三原一志整形外科部長にアドバイザーを依頼し、毎年開催している。今回は公立豊岡病院整形外科の加藤怜先生が「高齢者の骨折」をテーマに講演し、多くの症例が検討された。

加藤先生は、講演の中で、高齢者は元々の骨強度が低いことに加えて移動能力も低下しており、転倒などの軽微な外傷により骨折をきたすリスクが大きいとし、大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折などの症例を紹介。その上で、具体的な診断・治療の流れについて、スライドを用いながら分かりやすく解説した。



講師と参加者で活発に意見交換がなされた

支部では今後もシリーズ企画として開催を予定している。

# 「みんなでストップ！負担増」署名 5万筆達成に向け、ご協力ください

政府では、医療・介護の両者においてさまざまな負担増計画が議論されています。これらが実施されれば、さらなる受診抑制、介護サービス利用抑制を招くことは必至です。このたび、協会・保団連は、医療だけでなく介護の利用者負担増も阻止しようと、新たな請願署名（通称：みんなでストップ！負担増署名）に会員参加率15%、総数5万筆を目標に取り組むことを決めました。ぜひ署名活動にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

## ◆先生方へのお願い◆

- ◎署名用紙は郵送で1月中旬にお届けしております。
- ◎まずはご自身・ご家族・職員さんから集めていただき、協会へご返送ください。
- ◎受付・待合室への署名用紙の設置など、患者さんへの呼びかけもお願いいたします。
- ◎署名用紙の他、署名の中身を分かりやすく解説したリーフレットや署名付きポケットティッシュなどもご用意しております。  
署名用紙・チラシ・署名付きポケットティッシュの追加注文は、☎078-393-1807まで。



## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



- ★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
- ★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2月のテーマ】 11日（火・祝）は月曜日のテーマ、24日（月・祝）は金土日曜日のテーマを放送。

- 月曜日 知っているようで知らない血压の話
- 火曜日 妊産婦の歯科治療助成制度について
- 水曜日 痛風と生活習慣
- 木曜日 前立腺がんを早期発見しましょう
- 金土日 診療報酬と患者さんの負担

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。  
送付ご希望の医療機関は事務局☎078-393-1840まで。

・『共済制度加入者の集い』ご案内・

<兵庫県保険医協会設立50周年企画>

テレビで  
お馴染みの **荻原博子**さん

第1部 講演

がお話します

「投資なんか、おやめなさい」

経済ジャーナリスト **荻原博子**氏

「投資なんかおやめなさい」という刺激的なタイトルの書籍を上梓している荻原氏。各種金融機関が「人のいい小金持ちを狙っている」と指摘。「『何に投資すればいいですか』と聞く人は絶対にダメ。手数料目的の金融機関のカモになるだけです」と断言します。あくまでも「リスク」とセットである「投資」。その呪縛から離れた「適切な資産形成の方法」は果たしてどのようなものなのか。協会の共済制度をご利用いただいている先生方、奥様、スタッフのみなさんに、それぞれのライフプランに有益な「とっておきのいい話」をお聞かせいただく予定です。是非ご参加ください。



第2部 パーティー

「僕はナニワのアナウンサー」寺谷一紀さんと  
一緒に、立食パーティーをお楽しみください。

日時 **2月9日**(日)午後2時30分～

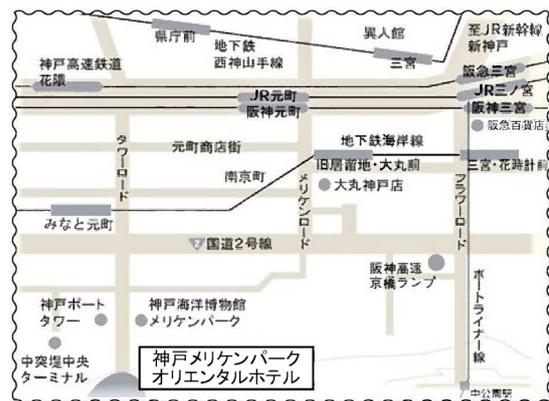
<午後2時開場>

会場 **神戸メリケンパーク  
オリエンタルホテル**

(神戸市中央区波止場町5-6)

参加費 1人 2,000円

保険医協会の共済制度ご加入中  
の会員と同伴の方お一人まで  
先着120名様



お問合せは協会共済部まで ☎ 078-393-1805

【FAX返信】(参加申込) 078-393-1802宛 (切り取らずに送信ください)

●2月9日(日)「共済制度加入者の集い」に参加します。

兵庫県保険医協会共済部 行

地区：	医療機関名：	電話番号：( ) -
会員ご氏名：	同伴者ご氏名：	

※FAX着信後、参加費の振込用紙をお送りしますので1月中にお振込みください。